

決済動向

— 平成7年8月 —

(平成7年10月11日)

1. 日本銀行における決済関連計数

8月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.0万件(前年比 Δ 2.9%)、金額ベースでは317.1兆円(同 Δ 1.8%)となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は298.1兆円(前年比 Δ 2.0%)、民間の集中決済制度に係る資金決済は13.4兆円(同+0.8%)となった。

8月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで5.7万件(前年比+50.7%)、金額ベースで144.3兆円(同+51.8%)となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで4.4万件(前年比+12.7%)、金額ベースで219.9兆円(同+4.4%)となった。

8月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで123.6万件(前年比+1.3%)、金額ベースで5.2兆円(同+8.0%)となった。

8月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高8.1兆円(前年比+0.1%)、支払高7.9兆円(同+7.3%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、8月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは39.6万枚(前年比 Δ 11.8%)、金額ベースでは4.9兆円(同 Δ 42.0%)となった。

8月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは335.3万件(前年比+4.0%)、金額ベースでは7.4兆円(同+9.4%)となった。

8月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは3.7万件(前年比+33.9%)、金額ベースでは31.6兆円(同+25.7%)となった。

3. その他

8月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は14.7万契約(前年比+15.4%)、月末の建玉数量は143.9万契約(前年比 Δ 3.5%)となった。

6、7月のS W I F T総送信件数(本邦分、月中合計)は、それぞれ210.2万件(前年比+8.9%)、206.3万件(同+10.7%)となった。

(信用機構局)